



今回のレファレンスコーナーは、岩手県立図書館開館80周年記念展で寄せられたレファレンスの中から紹介します。

Q 大正9年、首相原敬が図書館建設の基金として1万円の寄贈を申し出、翌年、首相暗殺後1万円が届けられたとのことですが、大正10年の1万円は、今ならどれぐらいの金額になるのでしょうか。

今年開催した「原敬と岩手県立図書館の歩み～岩手県立図書館開館80周年記念展～」で、この質問が寄せられました。

よくテレビなどで昔と今の金額を比較して「現在のおよそ〇万円」と言うのを聞くことがあります。そこで最初に、「明治頃からの金銭の換算表の様なものがあるはず、それを探し出せば・・・」と安易に考え、貨幣・通貨の棚へ行き、一通り関係すると思われる資料に目を通してみました。しかし、期待は裏切られました。

次に「当時から現在まで価値が変わらないものを基準とし、何倍になっているかを算出すれば、回答できる」と思い、当時の物価を『値段の明治・大正・昭和風俗史』（この他に、統、統統、完結と当館では4冊所蔵しております。この4冊は218種の品物やサービスの値段、公共料金などを収録し、明治期から昭和50年代までの値段の変遷を知ることが出来る貴重な資料です。）、『日本長期統計総覧』、『物価レポート'99』等により調査を開始しました。

#### 参考までに

- ・白米で算出すると、当時10キログラム2円66銭で現在3,570円、1,342倍となっているので当時の1万円は現在1,342万円となります。
- ・総理大臣の給料で算出すると、当時月額1,000円で現在230万円、2,300倍なので現在2,300万円となります。
- ・その他に当時、コーヒー1杯10銭、映画館入場料30銭、鉛筆1本5厘、ガソリン1リットル39銭などなど、皆さん計算してみてくださいね。

公務員の給料？郵便料金？鉄道運賃？それとも肉？卵？小麦粉？しかし基準とするものが何か分かりません。当時から比較して100倍程度のもの、また1万倍に近いものと算出するものによって大きな差が生じてしま

うからです。他の資料を調べても、当時の価格は分かりませんが、現在のいくりに相当するか明確な回答は導き出せませんでした。

そのとき「お金のことなら銀行に」と、また安易な発想が浮かび知人の銀行員に聞いてみることにしました。すると、銀行にも同様の質問がくるとのことで、何を基準にどのように算出しているか確認したところ、「白米を目安としているが、当時の白米は高価であり単純に換算は出来ないことから、はっきりとは言い切れない。」との回答を受け、また振り出しに戻りました。

質問者に対して、ここまでの経過を報告したところ、質問者本人もいろいろ調べてみたが、どうしても金額が出なかったということであり、調査については中止してよいとのことでした。

しかし、このレファレンスが自分の中では消化不良気味であり、あっさり回答が出るような気がして引き続き調査しようとしたところ、ある職員から「これって何年か前にもあったレファレンス、ただ回答は出なかったような気がする」ということで、過去のレファレンス受付票をひっくり返し、同様のレファレンスを発見しました。しかし、その当時も回答は出ていませんでした。

数年後、新岩手県立図書館が誕生します。その時も県立図書館と原敬の関係について触れることと思われ、同様のレファレンスが予想されます。これは県立図書館永遠のレファレンステーマなのではないでしょうか。良い資料をご存知の方、是非ご一報ください。

ちなみに大正11年当時、図書館建設費が約7万円でした。実に建設費の7分の1を負担したことになります。現在県立図書館を建設するとして、一体いくらかかるのでしょうか？その7分の1とは数億、いや数十億かも知れません。

#### 参考文献

『値段の明治・大正・昭和風俗史』

週刊朝日編 1981 朝日新聞社

（統 1981、統統 1982、完結 1984年の発行で、これらの内容は『週刊朝日』に昭和51年から58年に連載されたものです。）

当館請求記号 337.82 / シ 3

### 『日本長期統計総覧』

日本統計協会編 1987 日本統計協会  
(明治から昭和までの各種統計データです。全5巻。第4巻に物価があります。)

当館請求記号 351 / ニ 5

### 『物価レポート '99』

経済企画庁物価局編 1999 大蔵省印刷局  
(「昔と今の価格」で比較が出来ます。また物価に関する質問等を受け付ける「物価ダイヤル」「物価ファックス」の紹介があります。)

当館請求記号 337.8 / ケ 1

### 『小売物価統計調査報告 平成14年6月』

総務省統計局編 2002 総務省統計局  
(月刊で主要品目の都市別小売価格等があり、今回は盛

岡市における指定標準米の価格を参考にしました。)

当館請求記号 S337 / コ 1

### 『現行法規総覧 5巻 第3編 行政一般3』

衆議院法制局、参議院法制局編 1950 第一法規出版  
(内閣総理大臣の俸給月額を参考にしました。)

当館請求記号 R320.91 / ゲン

以上、今回のレファレンスに関係する資料を紹介しましたが、明治期よりも古い江戸期の物価を知ることが出来る資料を1冊紹介します。

### 『江戸物価事典』

小野武雄編著 1982 展望社

当館請求記号 R337.82 / オ



# 図書館体験ツアー開催



県立図書館の役割や、当館で実施している各種サービスへの理解を深めていただくために、「図書館体験ツアー」を開催しました。一部内容を紹介します。

- 1 開催日時 平成14年7月28日(日)
- 2 参加対象 小学生(保護者同伴可)
- 3 募集人員 20名
- 4 募集期間 7月2日～

今回は小学生を対象に実施しましたが、小学生11名、ご父兄9名の参加がありました。



県立図書館の概要や資料検索方法、各種サービスに関する説明の後、普段はなかなか目にすることのできない貴重書を紹介しました。江戸時代の盛岡の住宅地図ともいえる大型古絵図や、飢饉関係資料などを閲覧していただきましたが、特に大型の古絵図については、その大き

さに驚かれた様子で、現在の北上川とはその流れが違っていることや、盛岡城の全貌等を目にして、活発に質問が出されました。

その後は、2グループに分かれて図書館を見学しました。約30万冊が保管されている閉架書庫では、江戸時代や明治時代の本をはじめとして懐かしい絵本などが並んでいる様子を見学しました。その他、マイクロフィルムやCD-ROMでの資料の閲覧、実際に目録カードを利用した資料検索等の実習も行いました。

貸出以外にも様々なサービスがあること、膨大な数の資料を管理していることなど、県立図書館について新しい発見があったのではないのでしょうか。

中学生以上の学生、成人を対象としたツアーを予定していますので、是非、ご参加下さい。

- 1 開催日時 平成14年11月3日(日)
- 2 参加対象 中学生以上の学生及び成人
- 3 募集人員 20名
- 4 募集期間 10月15日～
- 5 その他 先着順とし、定員になり次第締め切る